

授業参観 親も静かに

白山・北辰中PTA

授業参観中の保護者同士がおしゃべりに興じて授業のじやまになるのを防ぐこと、白山市北辰中PTAがマナー向上を呼び掛ける活動に乗り出した。白山市内では初めての試みとなる。8日の参観では玄関に掲示板を用意し、チラシを手渡しして注意を促した。保護者は「子どもの反面教師にはなるまい」と、いつもより神秘的な面持ちで参観に臨んだ。

も以外の生徒の様子にも目を向けてほしい」
8日に配られたチラシには、授業参観の目的や注意が記された。学校はこの日、食堂を懇談の場として開放し、教室の外で保護者同士の交流が図れるよう配慮した。

「グループ活動など生徒 上がり過ぎないこと」「地の会話に乗じて大人も盛り 域の大人として自分の子ども

今年5月の参観で、「参観者の私語が目立つ」との声が多く上がり、PTAでは宮本健司会長(46)を中心

「盛り上がり過ぎない」「自分の子ども以外にも目を」



チラシで授業参観のマナー向上を訴える宮本会長
—白山市北辰中

掲示板、チラシで訴え

8日の参観では、教室内がほどよい緊張感に包まれ、大きな声でしゃべる参観者はいなかった。宮本会長によると、チラシを受け取った人からも取り組みを好意的に受け止める声がかれた。
白山市教委によると、市内で他に同様の取り組みを行う学校はない。宮本会長は他校のPTAからも同じような悩みを耳にするとし、「今後もマナー向上を呼び掛けていく。北辰中の取り組みを他校でも参考にしてほしい」と話した。



授業参観に臨む保護者ら(後方)。この日は私語は目立たなかった